

イチオシ!

M OVIE

『マジでガチなボランティア』

イベントサークル「GRAPHIS」を結成し、合コンやナンパに明け暮れるも、どこか物足りなさを感じていた医大生の石松宏章さん。転機となったのは、「一緒にカンボジアに小学校を建てないか?」という友人からのメールをきっかけにチャリティーイベントを開いたことだった。その後わずか8カ月で小学校が完成。大きな充実感と喜びを感じた彼らは、次なる目標を「医者不足の村への病院開設」と定める。しかし、メンバーとの対立、イベントの赤字、借金など、次々に訪れる試練―。本作は石松さんを中心に、ボランティア活動に青春を捧げる現代の若者の姿を、2007年から3年間にわたり追ったドキュメンタリー。収益の一部はカンボジアに寄付される予定。



©映画製作NGOマジガチ

2010年/日本
監督：里田剛
ナレーション：高良健吾
公開：12月4日(土)より、渋谷シネクイントにてレイトショー(全国順次公開)
URL：majigachi.jp/

☆公開記念イベント「マジでガチにならナイト」
本編の一部上映のほか、里田監督や「GRAPHIS」の現役メンバーなどがカンボジアやボランティア活動についてトークショーを開催。
日時：11月21日(日) 18時～19時半
場所：アップルストア銀座店3F
問：ブラウニー TEL：03-3354-6274

E VENT

WFPチャリティ写真展

『Fill the Cup with Hope～一杯の給食で、いっぱい希望～』

世界には飢えや栄養失調によって命を落とす子どもたちが大勢いる。その現実を知ってほしいと、赤いカップを手にした人気モデルたちが飢餓の撲滅を訴える写真展が開催される。今宿麻美さんや松島花さんなどモデルの面々は皆、無償での参加。赤いカップは、国連世界食糧計画(WFP)が約70カ国で実施する「学校給食プログラム」で食器として使われているモノ。「わずかな食糧が子どもの人生を変える」というメッセージが込められている。

会期：11月23日(火・祝)～28日(日)11時～20時
会場：GYRE(ジャイル)3Fギャラリー(東京・表参道)
入場料：無料
問：認定NPO法人 国連WFP協会
Tel：045-221-2515
URL：www.wfp.org/jp



©N.Miyamoto

B OOK

『ひとりじゃ生きられないニッポン 知ってるようで知らなかった日本と世界の関係55』

衣食住やエネルギー資源、娯楽製品などあらゆる面で世界の国々に依存している日本。その実態を、「セイカツ編」「ケイザイ編」「ヒトの交流編」「カルチャー編」などに分け、豊富なデータとともにまとめたのが本書だ。データの出典元は、2009年にJICAが実施した「日本・途上国相互依存度調査」。調査結果から、身近なモノのほとんどが輸入品であることが明らかとなっている。不景気が長引く日本なのに、なぜ途上国を援助するのか―。これを読めばその答えがひもとけるはずだ。フリージャーナリストの池上彰さんも推薦の一冊。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

『ひとりじゃ生きられないニッポン』
制作委員会 編著
文化工房
693円(税込)

B OOK

『イラストで知る アジアの子ども』

ネパール、インド、フィリピンなどアジア諸国の小さな村に生まれた子どもたちはどんな暮らしをしているのだろうか。毎日ご飯を食べ、学校に通えているのだろうか―。本書は、アジアの人々の健康を改善しようと1980年に設立された「財団法人 アジア保健研修財団 アジア保健研修所(AHI)」が、各国のNGOや保健・福祉分野などで働く人々から聞いた話を基に、子どもたちの日常をかわいらしいイラストで紹介したもの。それぞれの国の歴史や政治のほか、紛争、貧困、森林破壊、エイズまん延といった問題についても分かりやすく解説されている。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

財団法人 アジア保健研修財団 編著
明石書店
1,890円(税込)